

ましこ育脳プログラム

～まちぐるみで楽しく人づくり～

- ◆ましこ育脳とは ましこの豊かな環境（手づくり・ものづくりの町、美しい里山、恵みの田畑、伝統の歴史・文化、益子焼、豊富な人財）の中で、脳科学の理論に基づき、子どもの成長や脳の発達過程に合わせた4つの段階を踏まえて、脳を育てることです。
- ・子どもの才能は、育つ環境の中で後天的に伸びていきます。
 - ・育脳には「手遅れ」ということはありません。
 - ・脳には「生きたい」「知りたい」「仲間になりたい」という3つの本能があります。この脳の機能を高めていくには、これらの本能を磨くこと、よい心を育てることが必要です。
 - ・町では、この「育脳プログラム」をまちぐるみで実践し、子どもたちひとりひとりの才能、持って生まれた能力を開花させます。

笑顔であいさつ
はずむ会話
人がつながる益子町

未来にはばたく人財の育成

☆ましこ育脳ステップ4☆

歴史や文化・豊かな人財から伝統や知恵を学び、夢に向かってどんどんチャレンジしよう

10歳以降
子どもの脳から大人の脳へと変身期

これまでに身につけた
「脳の発達に良い習慣」
を存分に生かし、
「才能を発揮する脳」を
磨いていこう

7～10歳
自主性を育て完成させる時期

- ①失敗を素直に認めるとともに頑張った自分も認めよう
- ②夢（目標）を掲げ「どうしたらできる？」と前向きに取り組もう
- ③損得勘定で動くのではなく、何事にも全力投球しよう

☆ましこ育脳ステップ3☆

昔から続くお祭りや行事に参加
いろいろなことに挑戦
地域の人との交流を楽しもう

3～7歳
一生ものの脳が動く仕組みをつくる時期

- ①「無理」「できない」否定語を口ぐせにしない
- ②自分の頭で考えよう
- ③くり返し取り組もう

☆ましこ育脳ステップ2☆

ものづくりの町、親子でワークショップや農業体験「見つけた」「できた」を楽しもう

0～3歳
親子でこころを育む時期

- 4つの力を育もう
- ①興味を持つ力
 - ②好きになる力
 - ③感動する力
 - ④尊敬する力
- コミュニケーション力を磨く

☆ましこ育脳ステップ1☆

豊かな自然を満喫
外遊びを通じて自然を肌で感じ、親子で五感を育もう

妊娠

夫婦や家族の
会話を楽しもう

自主性が育つ下地づくり

地域

子どもの脳の発育プロセス

第1段階：0～3歳

脳の細胞が増える時期

第2段階：3～7歳

不要な細胞を間引き、脳神経回路のベースを作る時期

第3段階：7～10歳

脳神経回路網がどんどん発達していく時期

第4段階：10歳～

子どもの脳から大人の脳に移行する時期

子どもの脳と
大人の脳は
違うんだ!!

地域で育みたい心「お互いの違いを認め、共に生きていこう」